

Q		A
登録について		
1)	携帯・スマホ・PCのいずれも持っていない人へどのような指示をしていいかわからない	今回の訓練を通じて、総務課では全体の5～10%前後の方が持っていないものと認識しております。（訓練前の問合せ内容の7%がこれでした。） PC等の利用により自宅固定電話等の登録をご指示ください。
2)	更に、固定電話環境、所有無しの為登録不可の人たちをどうするか？	システム登録不可者として、別途総務課担当までご連絡下さい。
3)	登録するアドレスは個人携帯のアドレスか会社携帯のアドレスかどちらがよいのか？	実際の災害は、就業時間内だけでなく就業時間外にも発生します。その為、出来る限り日頃から所持している携帯電話のアドレスがよいと考えます。 ※注意点 会社携帯のみ所持（個人携帯なし）の方は、就業時間外の災害の際には会社携帯での連絡がとれにくく、安否報告がなされないことが想定されます。 個人携帯のみ所持（会社携帯なし）の方は、就業時間中には安否報告ができないことが想定されます。 これらの際は、職場内及び地域での確認にて安否報告と代えて下さい。その際は運用管理者による代行入力にご協力下さい。（総務課担当へ別途連絡等も可）
4)	古いガラケがログインできない場合の対応はどうすればよいか教えてほしい	PC等からログインし、アドレス等登録することにより、携帯電話から安否報告が可能となります。
5)	登録者の状況を教えてほしい（営業所長より）	上長の運用管理者（取締役・支店長・部長）、もしくは総務課担当までお問い合わせください。
6)	登録は強制かどうか教えてほしい	安否確認は、その後の迅速な復旧対応、事業継続に繋がる為、出来る限り全員の登録をお願いしています。 特に営業所復旧作業の中心となる復旧要員（管理職・総合職他）については、登録にご理解を頂いて下さい。 就業時間外での会社への安否報告が必要になること、常日頃から所持するであろう個人資産（携帯電話、メールアドレス等）での運用が望ましいこと、地域性・人間性の事情等を鑑み、あくまでご理解を頂いた上で、労使リスクを減らすようご注意ください。
安否報告について		
7)	自宅固定電話等を登録した人へどのような指示をしていいかわからない	自宅固定電話等からの報告/自主報告を指示下さい。 ※注意点 出勤中・外出中等の場合、自宅電話近隣にいない為安否報告ができません。その際は職場内や地域での確認にて安否報告と代えて下さい。 その際は運用管理者による代行入力にご協力下さい。（総務課担当へ別途連絡等も対応致します。）
8)	システム登録不可者として総務課担当に連絡した人たちはどうするか？	職場内及び地域での確認にて安否報告と代えて下さい。その際は運用管理者による代行入力にご協力下さい。（総務課担当へ別途連絡等も可）
安否報告の結果について		
9)	未登録者がでる理由は？	次の可能性があります。 ・ITが苦手の為、登録ができなかった（やる気はあるけれども） ・携帯・スマホ・PC・電話をもっていない ・入社1～2ヶ月以内だった ・長期休暇・療養中の為、登録できていない ・短時間労働者等の為、訓練ならびに登録等の連絡が届かなかった ・本人が拒否している 等
10)	登録不備者がでる理由は？	次の可能性があります。 ・登録時のアドレスの単純な入力ミス ・登録後にメールアドレスを変更した ・迷惑メール設定を解除し忘れた 等

11)	未応答者がでる理由は？	次の可能性があります。 ・メールは来たが、どうしていいかわからなかった ・自宅電話登録の為、自主連絡をしなくてはいけなかったが忘れた ・就業時間中の為、携帯電話等不携帯で気づかなかった(そのままにした) ・就業中の為、メール返信が不要と判断した ・退職後1～2ヶ月以内だった ・携帯電話が電波の届かない場所にあった(海外出張中等) ・パケット代等を気にしている為、メール返信に躊躇した 等
12)	所属員の安否報告を、運用管理者(支店長・部長)以外、所長、課長にもフィードバックして頂きたい。	上長の運用管理者(取締役・支店長・部長)、もしくは総務課担当までお問い合わせください。
訓練について		
13)	訓練は、応答率100%を目指すの？	訓練では、災害時に全登録者の所在ならびに応答不能等が確認できることを目的とするため、応答率100%を目標としております。 総務課としては、 支店長不在時に別拠点の支店長が主要人員の安否ならびに復旧対応初動ができる状態構築を目標としております。 主要人員の他は、職場内及び地域での確認にて安否報告と代えることも可能です。その際は運用管理者による代行入力にご協力ください。(総務課担当へ別途連絡等も可)
その他		
14)	支店長に配下営業所の都道府県の設定がなく、安否確認メールが不達だった。	支店に、配下営業所が関係する都道府県を追加しました。
15)	・従業員が、システムやITを不得手の場合、理解することが大変 ・従業員に伝えるのにもう少し時間的余裕が欲しい ・マニュアルを紙で配ると膨大な無駄になるので展開が難しい	ITが苦手な方には、理解が困難な仕組みではあるかもしれませんが、安否確認システムの目的をご理解いただき、訓練を通じて習熟頂ければと考えております。 また、従業員数が多い、人の出入りが多い、業務繁忙等により周知、展開が不十分になることも想定されます。ですが、災害はどんなときに訪れるかわかりません。その際に、より迅速な確認と復旧対応をおこなうため訓練を通じた周知、展開をお願い致します。
16)	外出時に被災した場合の対応(ドライバー等)はどうするべきか検討したほうがいい	外出時に被災した場合に、安否確認メールが届かない場合、自主報告にて対応するようご指示ください。 →手順書『利用者行動マニュアル』2ページをご参照ください。
17)	・安否確認をしたあとどうすればいいの？ ・災害対応BCPの安否確認とセコムの安否確認システムの関係は？	安否確認後の対応について、「支店・営業所・本社での対応について(例)」を作成致しましたのでご参考下さい。 また、災害対応BCPの改版を予定しておりますが、それまでの間は「支店・営業所での対応について(例)」をご参考下さい。
18)	拠点単位の訓練で利用してよいの？	問題ありません。必要あれば操作方法等について担当までご確認ください。